

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# mFOLFOX6 + Bevacizumab療法

2 週毎 コース予定

疾患名 大腸癌

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )、HCV抗体( )  
スケジュール

			day1	day2
ベバシズマブ	5 mg/kg		↓	
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>		↓	
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>		↓	
フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	↓	
フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	46時間持続点滴	→	→

【注意】 \* ベバシズマブの点滴時間は初回投与時は90分かけて点滴静注、2回目の投与は60分間で行ってよい。それ以降は忍容性が良好であれば、30分間投与でもよい。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- |   |                            |                                   |
|---|----------------------------|-----------------------------------|
| ① | 生食 500 mLにて血管確保            | 維持(20 mL/時間)                      |
| ② | グラニセトロン注 3 mg              | 側管静注                              |
|   | デキサメタゾン注 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注                              |
| ③ | ベバシズマブ                     | + 生食 適量(全量 100 mL) 点滴注射(90 ~ 30分) |
| ④ | オキサリプラチン                   | + 5%ブドウ糖250 mL                    |
|   | レボホリナート                    | + 5%ブドウ糖250 mL                    |
|   |                            | } 同時滴下<br>2時間で点滴注射                |
| ⑤ | フルオロウラシル                   | + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)      |

⑥ フルオロウラシル + 生食 適量(全量 140 mL)

インフューザーポンプ ( 3.7 mL/時間) にて46時間で持続点滴

インフューザーポンプに2日分(46時間分)を一度につめます

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
レボホリナート 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (全開点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (持続点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
レボホリナート 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (全開点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (持続点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							